

後期計画の取組指標

上位成果指標

☆基本施策C5 農林業に新しい活力を生み出します

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
1戸当たりの農産物販売額	4,305千円	4,591千円	長崎市内産農産物の農業経営体1戸当たりの販売額。 長崎市中央卸売市場・農協系統（直売所を含む）・長崎花市場に調査を行い把握する。 農産物販売額（直近値に過去3年間の年平均増加率に1.013%を乗じて得た額）を、農業経営体数で除して得た額を目標とする。

長崎市農業振興計画 後期計画

個別施策I 地域ブランドの育成を推進します

取組方針I-1 地域ブランド品の生産拡大

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
長崎びわ「なつたより」の販売量	21 t	500 t	地域ブランド長崎びわ「なつたより」の販売量。 農協系統の販売実績調査により把握する。 長崎びわ産地再生計画（平成25～29年度）において、平成28年度までに300 tをめざすこととし、その後、年50 t増で平成32年度に500 tとすることを目標とする。
「長崎和牛・出島ばらいろ」の販売量 [暦年]	671 t	700 t	地域ブランド「長崎和牛・出島ばらいろ」の販売量。 農協系統の販売実績調査により把握する。 素牛価格の高騰により販売頭数は現状維持とし、収益分岐価格を試算のうえ、1頭当たりの平均枝肉重量（0.5 t）に販売頭数1,400頭を乗じた得た販売量を目標とする。
長崎いちごの販売額	4.8億円	5.5億円	新規地域ブランドの「長崎いちご」の販売額。 農協系統の販売実績調査により把握する。 農協生産部会目標10 a当たり販売額500万円に作付面積11haを乗じて得た販売額を目標とする。
輪菊の販売額	1.6億円	1.8億円	新規地域ブランドの「輪菊」の販売額。 農協系統の販売実績調査により把握する。 農協生産部会目標10 a当たり販売額273万円に作付面積6.5haを乗じて得た販売額を目標とする。

取組方針I-2 地域特産の農産物の生産基盤の充実

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
市場及び農協系統の農産物の販売額	55.7億円	60.0億円	長崎市内産農産物の販売額。 長崎市中央卸売市場・農協系統（直売所を含む）・長崎花市場に調査を行い把握する。 直近値に過去3年間の年平均増加率に1.013%を乗じて得た農産物販売額を目標とする。なお、期間の年平均は0.86億円増となる。
果樹の販売額	14.5億円	17.0億円	長崎市内産農産物のうち果樹（果実類）の販売額。 長崎市中央卸売市場・農協系統（直売所を含む）に調査を行い把握する。 長崎びわ「なつたより」増を含むが、びわ従来品種やみかん類の減少を考慮し、17億円を目標とする（近年天候不順等により増減が大きいため増加率等の算出としていない）。なお、期間の年平均は0.50億円増となる。

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
野菜の販売額	10.7億円	13.0億円	長崎市内産農産物のうち野菜の販売額。 長崎市中央卸売市場・農協系統（直売所を含む）に調査を行い把握する。 新規地域ブランドの「いちご」「アスパラガス」の増加を考慮し、13億円を目標とする（近年天候不順等により増減が大きいため増加率等の算出としていない）。なお、期間の年平均は0.46億円増となる。
花き販売額	6.2億円	6.5億円	長崎市内産農産物のうち花き販売額。 長崎市中央卸売市場・農協系統（直売所を含む）・長崎花市場に調査を行い把握する。 新規地域ブランドの「輪菊」「草花」の増加を考慮し、6.5億円を目標とする（近年天候不順等により増減が大きいため増加率等の算出としていない）。なお、期間の年平均は0.06億円増となる。

個別施策Ⅱ 安心して農業を営む環境づくりを進めます

取組方針Ⅱ-1 人・農地プランの実現

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
地域連携組織設立数	4組織	8組織	人・農地プランの実現に向けた具体的な話し合いを行う場として、地区ごとに設立された地域連携組織数。 戦略モデル地区等で設立された組織数により把握する。 人・農地プランを策定した集落（10地区24集落）のうち「戦略モデル地区」に現在4地区を設定しており、地域の特性及びポテンシャルが高い4地区を新たに設定し、現在の倍増の年1組織程度の設立を目標とする。
整備計画事業化数	0件	12件	戦略モデル地区において策定した整備計画の活動計画による、基盤整備等の事業化の件数。 戦略モデル地区での具体的な事業化数により把握する。 現在指定している戦略モデル4地区において、平成30～32年度に年1地区1件の具体的な事業化として、4地区3力年で12件を目標とする。

取組方針Ⅱ-2 農産地域の資源を活かした地域づくり

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
地域資源（農村景観）選定数	2地域	6地域	「長崎ならではの」地域資源（農村地域）の選定数。 選定数により把握する。 日本の棚田百選「大中尾棚田」長崎県だんだん畑十選「宮摺」に加え、新たな地域資源の掘り起こし・選定について、新たに4地域（年1地域程度）を目標とする。

取組方針Ⅱ-3 有害鳥獣対策による農作物被害の防止

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
地域ぐるみによる有害鳥獣捕獲（捕獲隊）の組織数【累計】	38組織	100組織	地域ぐるみによる自己防衛による有害鳥獣捕獲組織（捕獲隊）数。 捕獲隊の組織結成数により把握する。 農事実行組合や自治会等单位での組織化の推進により、年12組織程度、100組織を目標とする。
有害鳥獣被害相談件数	877件	650件	有害鳥獣被害に係る農業者・市民等の相談の件数。 市や有害鳥獣相談センター等への相談件数により把握する。 有害鳥獣3対策（防護・棲み分け・捕獲）の充実により、年5%（45件）程度の削減、650件を目標とする。

取組方針Ⅱ-4 農地の有効活用

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
多面的機能支払交付金による管理面積	307ha	380ha	農地等の保全のための、多面的機能支払交付金制度に取り 組む組織の管理面積。 交付対象の協定面積により把握する。 活動組織10組織の12組織に広げ、現在の平均管理面積を 乗じて得た380haを目標とする。
中山間地域等直接支払交付金による管理 面積	110ha	140ha	農地等の保全のため、中山間地域等直接支払制度に取り組 む組織の管理面積。 交付対象の協定面積により把握する。 活動組織30組織を38組織に広げ、現在の平均管理面積を 乗じて得た140haを目標とする。

取組方針Ⅱ-5 農業施設整備の推進

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
整備計画事業化数（Ⅱ-1再掲）	0件	12件	戦略モデル地区において策定した整備計画の活動計画によ る、基盤整備等の事業化の件数。 戦略モデル地区での具体的な事業化数により把握する。 現在指定している戦略モデル4地区において、平成30～ 32年度に年1地区1件の具体的な事業化として、4地区 3カ年で12件を目標とする。

個別施策Ⅲ 意欲ある農業者の育成確保を図ります

取組方針Ⅲ-1 地域農業のリーダー育成

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
認定新規就農者数	6人	26人	農業経営基盤強化促進法に基づき、長崎市において青年等就 農計画を認定した（就農5年後の所得目標300万円）新規 就農者数。 市の認定数により把握する。 制度創設時の2年間平均認定新規就農者数の年4人、26人 を目標とする。
認定農業者における年間農業所得目標 達成者数（平成27年度からの累計）	23人	123人	農業経営基盤強化促進法に基づき、長崎市において農業経営 改善計画を認定した（5年後の所得目標概ね400万円）認 定農業者のうち、当該所得目標の達成者数。 長崎市担い手育成総合支援協議会の農業者個別面談により 把握する。 近年の平均達成者割合48%を基準に、年50%（20 人）、累計123人を目標とする。
受入団体等登録・作業受委託組織数	18件	36件	長崎県受入団体等登録制度への登録団体・個人及び作業受 委託組織の数。 長崎市の登録数及び実態調査により把握する。 現在、受入団体等登録数15団体・個人及び作業受委託組 織3組織であり、倍増の36件を目標とする。
農業ヘルパーの紹介人数（延べ人数）	118人	140人	長崎市農業センター：無料職業紹介における農業者等への 農業ヘルパー紹介人数。 長崎市により紹介者数を把握する。 人・農地プラン地区別懇談会等で農業者要望の多かった、 期間労働力確保を推進し、年延べ140人を目標とする。

個別施策Ⅳ 多様な主体の交流を促進し、食関連産業を活性化します

取組方針Ⅳ-1 新たな販路拡大や消費拡大の推進

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
長崎びわ「なつたより」の販売額	0.3億円	6.4億円	地域ブランド長崎びわ「なつたより」の販売額。 農協系統の販売実績調査により把握する。 長崎びわ産地再生計画（平成25～29年度）において、平成28年度までに300 tをめざすこととし、その後、年50 t増で平成32年度に500 tとするため、これに平成26年度の販売単価1,289円/kgを乗じて得た額を目標とする。
「長崎和牛・出島ばらいろ」の販売額 [暦年]	16.4億円	14.2億円	地域ブランド「長崎和牛・出島ばらいろ」（枝肉）の販売額。 農協系統の販売実績調査により把握する。 素牛価格の高騰により販売頭数は現状維持とし、1頭当たりの平均枝肉重量（0.5 t）に、販売頭数1,400頭、平成26年の販売単価2,025円/kgを乗じて得た額を目標とする。

取組方針Ⅳ-2 長崎ならではの食材や食文化の魅力の発信

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
市内農産物の市民認知度	81%	86%	長崎市内農産物の市民の認知度。 長崎市のながさきの「食」市民意識調査により把握する。 平成27年度調査により、認知度が81%であり、年1%増、86%を目標とする。
観光客を対象とした重点品目「びわ」 「出島ばらいろ」の認知度	びわ 33.6% 出島ばらいろ 7.0%	びわ 55.7% 出島ばらいろ 24.2%	「びわ」「長崎和牛・出島ばらいろ」の観光客の認知度。 長崎市の観光客を対象とした、ながさきの「食」に関するアンケート調査により把握する。 平成26年度調査から年2%増、「びわ」55.7%・「長崎和牛・出島ばらいろ」24.2%を目標とする。

取組方針Ⅳ-3 食育体験の推進による食に対する意識の醸成

指 標	現 況 (H27)	目 標 (H32)	指 標 の 説 明
グリーンツーリズムへの参加者数	11,708人	12,000人	農家民泊体験や農漁業体験等、グリーンツーリズム体験の参加者数。 グリーンツーリズム実践団体への調査により把握する。 グリーンツーリズム参加者は伸びており、年約60人増、12,000人を目標とする。
「食卓の日」の実施度	23%	50%	食卓の日を認知している者のうち、意識して食卓を囲んでいる人の割合。 長崎市のながさきの「食」市民意識調査により把握する。 現在、23%であり、過半数の市民が「食卓の日」を実施していることをめざし、倍増の50%を目標とする。